



厚木ロータリークラブ週報

JAPAN 第2780地区

Atsugi Rotary Club Weekly

会員	長井一	田中明
副幹事会	澤茂	義男
幹事会	木井	田中
幹報・IT	鈴今	前会

ロータリーに輝きを

2014～2015 国際ロータリー会長 ゲイリー C.K ホアン

<http://www.atsugi-rotary.jp> メールアドレス info@atsugi-rotary.jp TEL.046-222-5811 FAX.046-222-5821

例会場 厚木商工会議所 5F 大会議室

例会日 毎週火曜日 12:30～

事務所 厚木市栄町1丁目16番15号 厚木商工会議所内

第2645回例会(3月3日)☆司会 森住 等 副SAA

点鐘 …前田賢一会長

齊唱 …君が代・厚木RCの歌

スマイル

大川 浩様(東京羽田RC)

御クラブ創立記念例会に因み前田会長様並びに会員皆様の御多幸、ご健勝を祈念申し上げスマイルします。

「創立記念例会(移動例会)」



会場：セルバジーナ

担当：前田賢一会長

講師：吉岡 敏君

「再び不易流行」

今日は厚木RCの創立記念例会です。

今から、54年前の昭和36(1961)年3月7日が創立記念日。その年の5月8日がRI認証日、そして11月22日が認証状伝達日という順番になります。

したがって来年は創立55周年の節目の年にあたります。

この厚木RC誕生の昭和36年という年は、私にとっては大変印象深い年なのです。

実は、私は昭和35年5月3日に結婚しました。厚木ロータリー創立の1年前の年です。そして、その翌年、丸丸1年経った同じ日、昭和36年5月3日に長女が誕生致しました。結果、長女の誕生日祝いのつど毎年、結婚記念日も自動的に記憶を新たにさせられます。

世の中の亭主族の中には、往々にして自分の結婚記念日は念頭になく、年数も計算しなくてはわからない人が沢山います。この厚木RCの会員の中にも少なくないだろうと思います。

しかし私は娘の誕生日祝いのつど娘の年齢から自動的に結婚年数を確認させられていましたので、娘が離れて住むようになってもしっかりこのことは覚えてしまっています。さらに、厚木RCに入会して一層昭和36年という年の印象が強くなりました。

さて、私の厚木RC入会は昭和62年8月、三橋年度でスポンサーは、今は亡くなってしまったが堀司郎さんでした。

今日のお祝い 「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

*会員誕生日

森住 等君(10日)

黄金井一太君(11日)

加藤一郎君(13日)

*結婚記念日

恵津晴夫君(12日)

今日の例会(2015年3月10日)

「危険ドラッグの現状について

～医療の現場から～」

担当：高橋 浩君

講師：神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター

福祉医療相談課 精神保健福祉士 大曾根しのぶ様

次回の例会(2015年3月17日)

「改正債権法について」

担当：常磐重雄君

あまり深い考えもなく楽しく厚木クラブのメンバーとして、例会や折々の行事に参加してクラブライフを楽しんでおりました。

一方私は、平成3年春から、海老名市商工会の会長を務めていましたが、平成8年頃から、商工会から商工会議所への移行を準備しておりました。

いよいよ移行の時期が近くなり、諸々の事柄で時間のやり繕りがつかなくなってきて、度々欠席で迷惑をかけるよりはと退会をしたのが平成11(1999)年12月でした。入会後12年半経っていました。

このころの厚木RCの出席率は素晴らしい、毎週100%出席を続けていました。

退会してから2年半の後、再び厚木RCへ再入会したのが平成14(2002)年7月でした。今回のスポンサーはチャーターメンバーの黄金井一太氏に引き受けで頂きました。

その後、2004~05年度の会長を務めました。全く何も判らない会長で、幹事を引き受けてくれた西嶺さんのおかげで勤まったようなものです。

ただ会長を務めたおかげで、それまでよりもロータリーについて考えるようになりました。

会長には、地区を通じて多くの情報がもたらされます。そうした中で知識も増え、考えることも多くなり自然にロータリーについての理解が進むのだと思います。

そして2007~08年度に、晴天の霹靂のようなガバナー補佐指名があり、これまた五里霧中の手探り状態で勤めました。

ガバナー補佐を務めることで、自クラブ以外のいろいろなクラブ運営に接することで、自クラブの良さを再確認できたと思っております。

入会し、退会し、再入会して、暦の上では28年、会員として25年が過ぎようとしています。この間、30周年、50周年という印象深い年度も経験しました。

いろんなこともありましたが、今思うことは、厚木RCは「大人のクラブ」だという思いです。

先日、1月27日のクラブフォーラムで、本多会員が「不易流行」について話された中で、「厚木クラブの不易は伝統を重んじる風土があり。厳とした風格がある。」

「流行については良いセンスで対処している。外部よりの押しつけあるいは激変を伴うものは受け入れ難く、気が熟すのを待って消化している。」と述べられていますが、私も全く同じ感じを持っています。

言葉を換えていうと、ロータリーの目的である「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」を「不易」として、毎年度新たにもたらされるRIや地区の方針については大人の考え方で受け入れていくことが「流行」だと思います。

こうした厚木クラブとしての大人の運営方法は、創立以来厚木クラブを構成してきたチャーターメンバーを始めとする会員の方々の、良識あるクラブ運営の賜物と思っています。

こうした厚木クラブらしい伝統は、クラブが存続する限り継続するもの信じております。



前田会長挨拶



例会



乾杯 黃金井一太君



懇親会



懇親会



会田義明会長エレクト挨拶

出席報告 <会員 39 名、出席対象 35 名>

2月17日例会 確定出席率 100%	3月3日例会 出席 29名 欠席 8名 出席率 82.86%
<事後メイク> 井上 聰君 (2月19日／海老名櫻RC)	<事前メイク> 前島憲司君 (2月22日／ロータリーデー厚木) 丸田隆弘君 (2月22日／ロータリーデー厚木) <欠席> 小野 修君・小山賢司君・十亀健志君 三宅壯平君・米山尚登君・志保達郎君